



令和元（2019）年5月14日

職員の働き方を改革し、市役所の業務を効率化 RPA 実証実験の結果を公表します

大府市では、平成31（2019）年2月から3月に掛けて、RPA（ソフトウェア型ロボットがパソコン上の操作を記録して、人の代わりに自動的に作業をしていく仕組み）の導入に向けた実証実験を実施し、RPAの効果が非常に高いことが判明しましたので、その成果を公表します。

RPAの導入により、単純作業に対する作業時間を省略し、他の市民サービスの提供に重点を置くことが可能になります。実証実験では3業務のみの実施でしたが、本年度中に本格運用を開始し、市役所全体の業務の効率化を図ります。

■ 実証実験の概要

期間／平成31（2019）年2月18日（月）～3月15日（金）

協力会社／ソフトバンク株式会社

■ 実証実験の結果

業務名 (所管課)	実証実験（2/18～3/15）の結果			年間削減時間 の見込み
	導入前 所要時間	導入後 所要時間	削減時間 (率)	
特別徴収異動届出書入力 (税務課)	60分	11分	49分 (81.7%)	147時間
要介護者データ処理・手紙作成 (高齢障がい支援課)	50分	2分	48分 (96%)	10時間
年金特徴開始通知作成業務 (保険医療課)	30分	1分	29分 (97%)	6時間



■各業務の内容

業務名（所管課）	現在の業務内容	RPA化の内容
特別徴収異動届出書入力 （税務課）	特別徴収を行う事業所から、退職、転職または就職の異動届出書が提出される。その異動届出書をExcelへ手入力する。⇒2つのシステムに手入力	2つのシステムへの入力部分をRPA化
要介護者データ処理・手紙作成 （高齢障がい支援課）	Excelで作成された要介護者のデータを新規、異動などのカテゴリに抽出し、別ファイルにコピーする。その後、更にWordに転記して申請書を作成する。	Excelデータの抽出～申請書作成までをRPA化
年金特徴開始通知作成業務 （保険医療課）	国保連合会から受信したデータを編集、抽出し、その抽出後のデータを元に年金特徴開始世帯に向けた通知文書を作成する。	データの編集～通知文書作成までRPA化

- ※ RPA化することにより、入力事務の省力化だけでなく、入力ミスなどの単純なミスもなくなります。
- ※ 従来の業務では、窓口対応でたびたび作業が中断していましたが、RPA化することにより、処理の流れを止めることがなくなります。

■RPAとは

「Robotic Process Automation /ロボティック・プロセス・オートメーション」の略語で、これまで人間が行ってきた事務作業の一部を、ロボットを使って自動化する仕組み。ソフトウェア型のロボットがパソコン上の操作を記録して、人の代わりに自動的に作業をしていくことが特徴。RPAは新たな判断を伴わない定型業務やルーチンワークと呼ばれる類の業務が適しており、AIのように判断が必要な作業は不向きです。

【問い合わせ先】

大府市総務課情報システム係

担当：新美清和（ニイミ キヨカズ）

電話：0562-45-6253 FAX：0562-47-7320 E-mail：somu@city.obu.lg.jp